

IPカメラ クイックスタートガイド

同梱品/各部の名称.....	P.1
設置の方法.....	P.2
接続の方法.....	P.3
設定PCのIPアドレス設定.....	P.4
IPカメラのアクティベート設定.....	P.5
IPカメラへのアクセス	P.7
ウェブブラウザ画面.....	P.9
PCやスマホから遠隔監視の設定	P.13
安全上のご注意.....	P.14

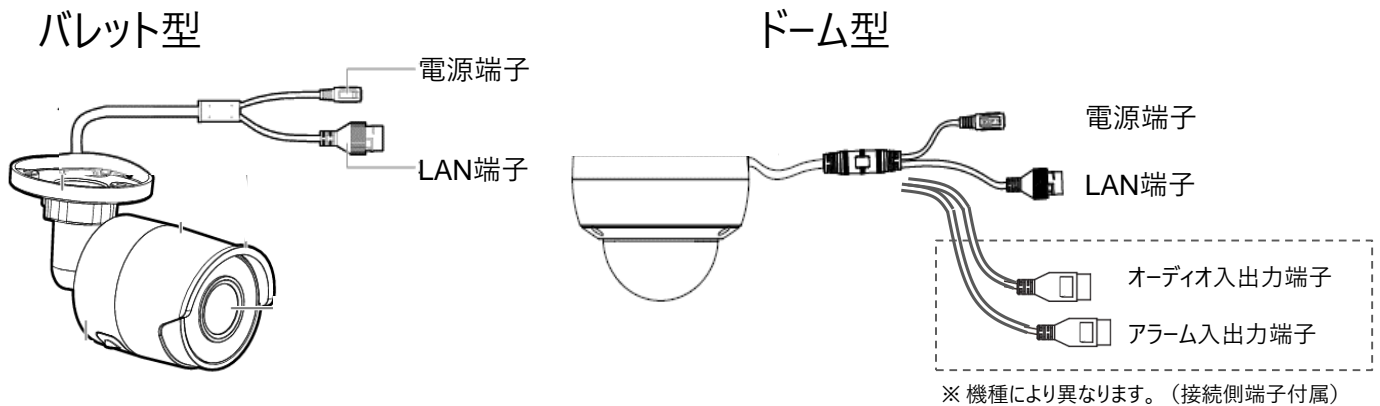
同梱品

パッケージには下記の付属品が同梱されています。

- ① 本体 x 1 台
- ② クイックスタートガイド x 1
- ③ カメラ取付ネジ(φ4x25mm)・プラスチックアンカー x 1 式
- ④ LANコネクタ防水キット x 1 式
- ⑤ ドリルプレート x 1 枚
- ⑥ L字レンチ x 1 個※

※) 同梱されていない場合は、十字ドライバーで取り外せます。

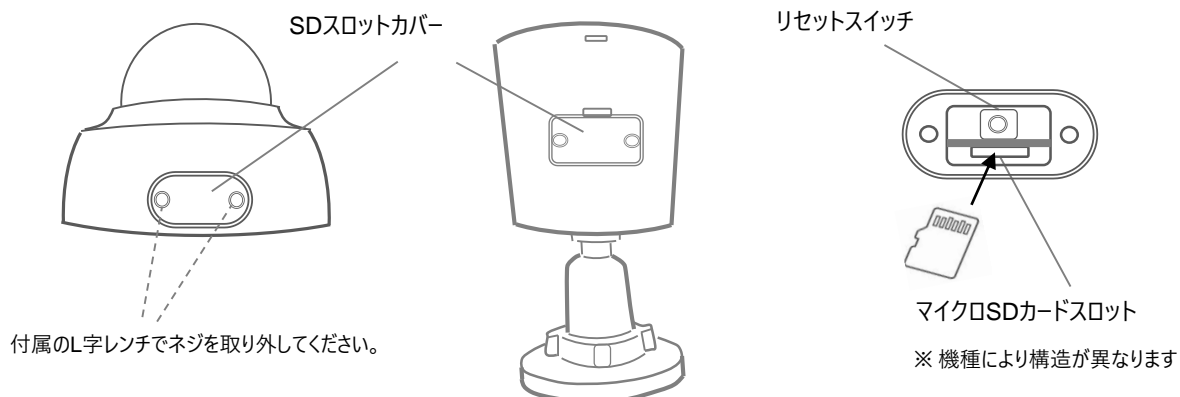
各部の名称



PoE給電されない場合は、電源端子（φ5.5x2.1mmプラグ）より、別売のACアダプタを使用ください。

マイクロSDカードスロット、リセットボタン

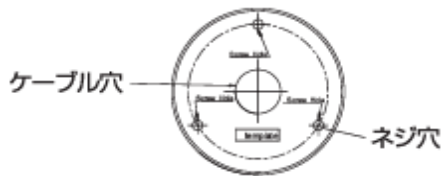
マイクロSDカードスロット及びリセットボタンは、本体のカバーを外した内部に搭載されています。



設置の方法

壁面と天井のどちらにでも取り付けできます。

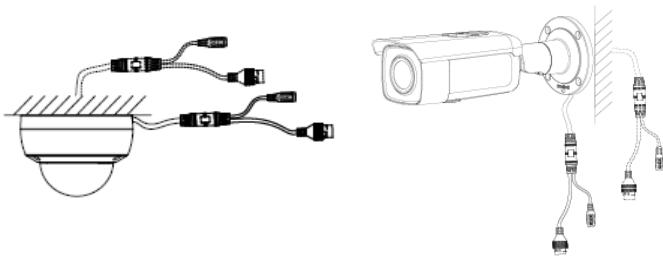
1. 同梱のドリルプレートに従い、ドリルで天井にネジ穴を開けます。必要に応じてケーブル穴を取付ブラケットの外側に開けます※注



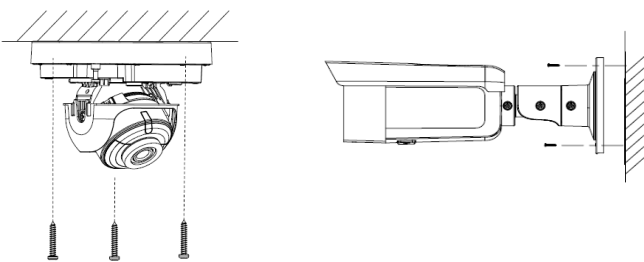
付属のアンカーを使う際は、5.5mmのドリルでネジ穴を開けてください。

*注) 接続ケーブルを設置面に通さない場合、ケーブル穴を開ける必要はありません

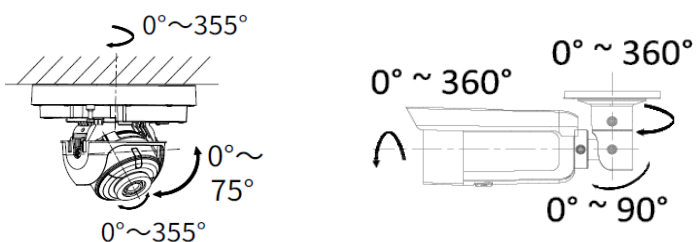
2. ケーブルをケーブル穴または、筐体の逃げ穴に通します。



3. 同梱の取付ネジでカメラを設置面に固定します。

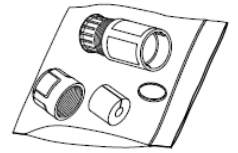


4. カメラの映像を確認し、最適な角度に合わせます。



※ 機種により調整角度範囲は異なります。

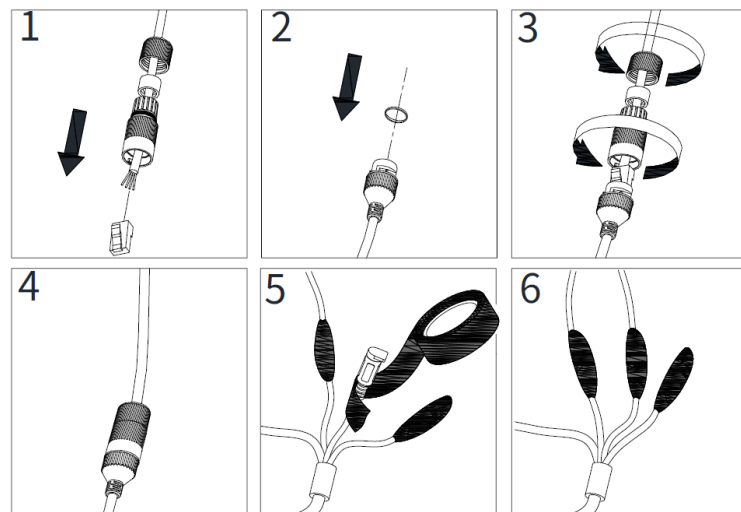
屋外配線する場合は、付属のLANコネクタ防水キットを使用し、LAN端子の防水対策を施して下さい。



1. 接続するLANケーブルにプラグカバー、防水リング、固定カバーを通します。

(RJ45端子が通らない場合は、ケーブルを通した後、端子を取り付けて下さい。)

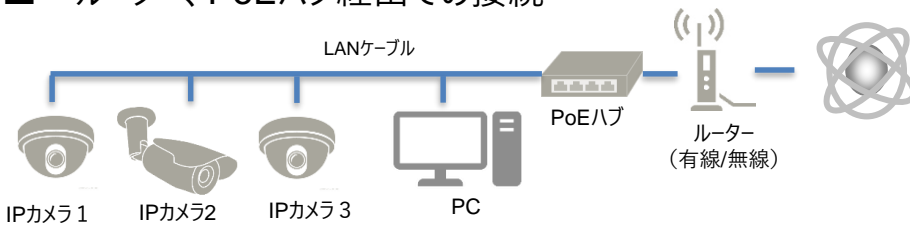
2. カメラのLAN端子側にO-リングを取り付けます。
3. LAN端子を接続の後にプラグカバー、固定カバーを締め付けます。
4. O-リングを挟み、カチッと固定するまで締めます。
5. LAN端子中継部、電源端子、その他接続部を防水テープ等で、しっかりと巻きつけ防水処理をします。



接続の方法

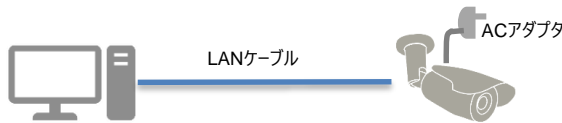
IPカメラの設置、接続するには、以下のような方法があります。

■ ルーター、PoEハブ経由での接続

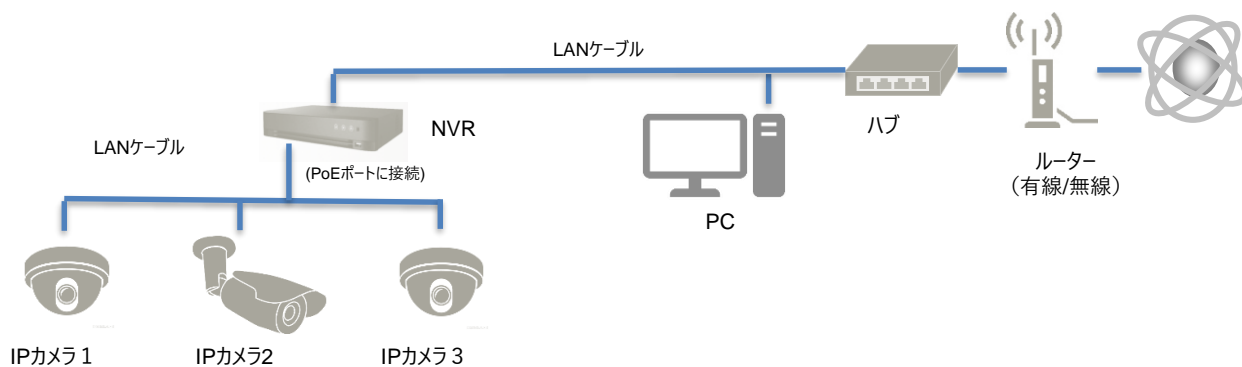


※ PoE給電しない場合は、IPカメラそれぞれにACアダプタで電源を供給してください。

■ PCに直接での接続



■ NVR（ネットワークレコーダー）経由での接続



※ NVR経由での接続については、NVR（ネットワークレコーダー）の説明書を参照してください。
PoEポートに接続時は、IPカメラを初期化した状態（非アクティブ）で接続してください。

IPカメラのネットワーク接続

ユーザーアカウントとデータのセキュリティとプライバシーを保護するために、ネットワーク経由でIPカメラにアクセス時に、IPカメラをアクティブ化するためのログインパスワードを設定する必要があります。（初回、起動時のみ必要となります）

アクティブ化するには、WebブラウザやSADPツール、クライアントソフトウェア経由のアクティベートに対応していますが、ここでは、設定が容易なSADPツールを用いて設定をします。

■ SADPツールのインストール

以下のウェブサイトより、ダウンロードし、PCにインストールしてください。

<https://www.hikvision.com/jp/support/tools/hitools/>

見つからない場合は、“SADPツール”と検索し、ダウンロードしてください。



SADPツール

V3.0.5.7 | 108.13MB | 2022/07/13

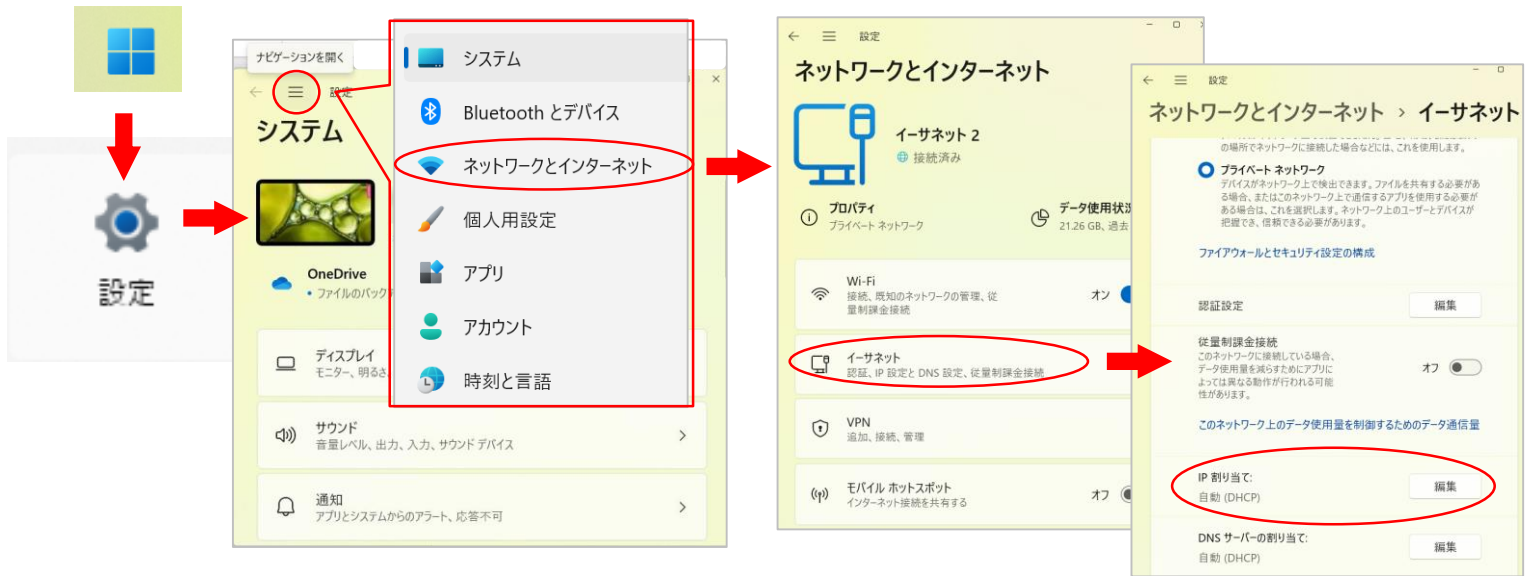
SADPソフトウェアは、同一ネットワーク内のオンラインデバイスの検索に使用されます。デバイス情報の表示、デバイスのアクティベーション...

設定PCのIPアドレス設定

1. カメラのアクティベート（有効化）設定をするには、PCを同じネットワークにして設定する必要があります。カメラのIPアドレスの初期値は、“192.168.1.64”です。ここでは、Windows11の設定方法を説明します。

※その他のバージョン・OS の設定変更は、下記参考にお調べをお願いします。

2. スタート ⇒ 設定 ⇒ ナビゲーション(3本バー) ⇒ ネットワークとインターネット ⇒ イーサネット ⇒ IP割り当て を開きます。



4. IP設定の編集画面になりますので、手動 を選択し、IPv4のスイッチをONにします。

手動設定画面になりますので、IPアドレス等、必要項目を設定し、保存します。

PC の IP アドレス設定は以上となります。



IPアドレスは、192.168. 1. XX
XXは、64以外を設定下さい。
カメラの初期値：192.168.1.64 の
上3桁は揃える必要があります。

サブネットマスクは
255.255.255.0 にします。

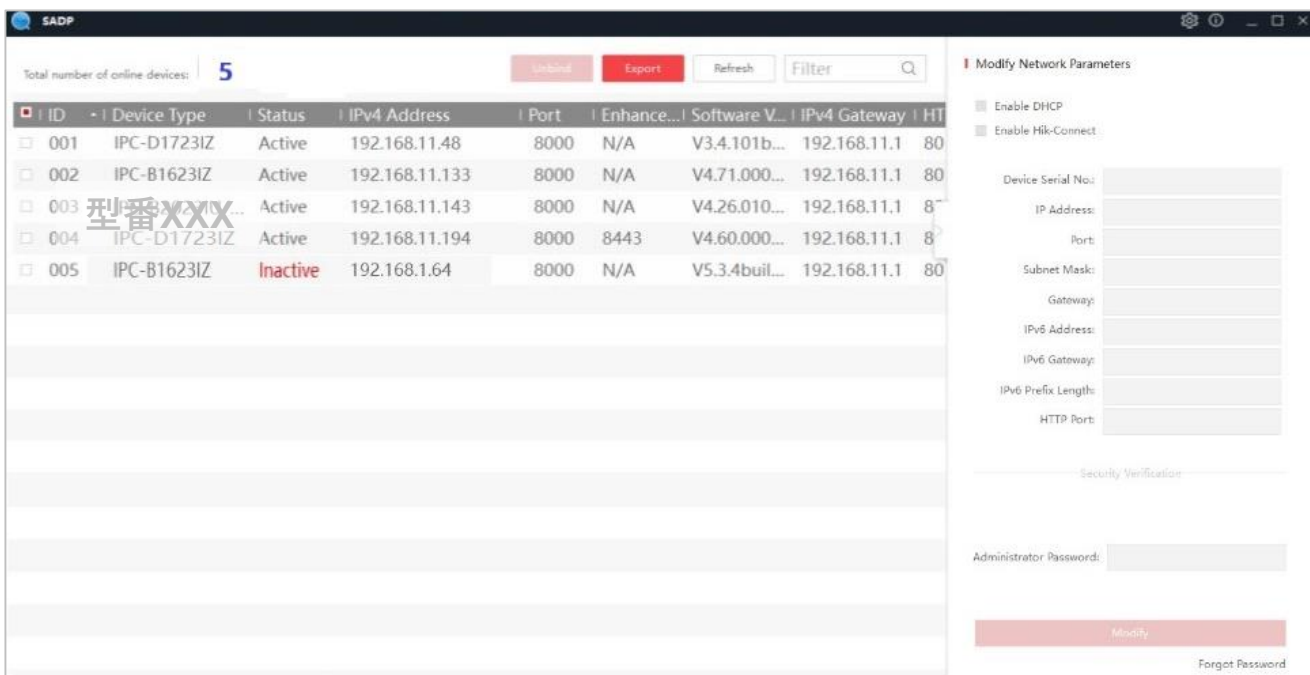
保存できない場合は、ゲートウェイ、DNS等、
任意のアドレスを設定してください。

IPカメラのアクティベート設定

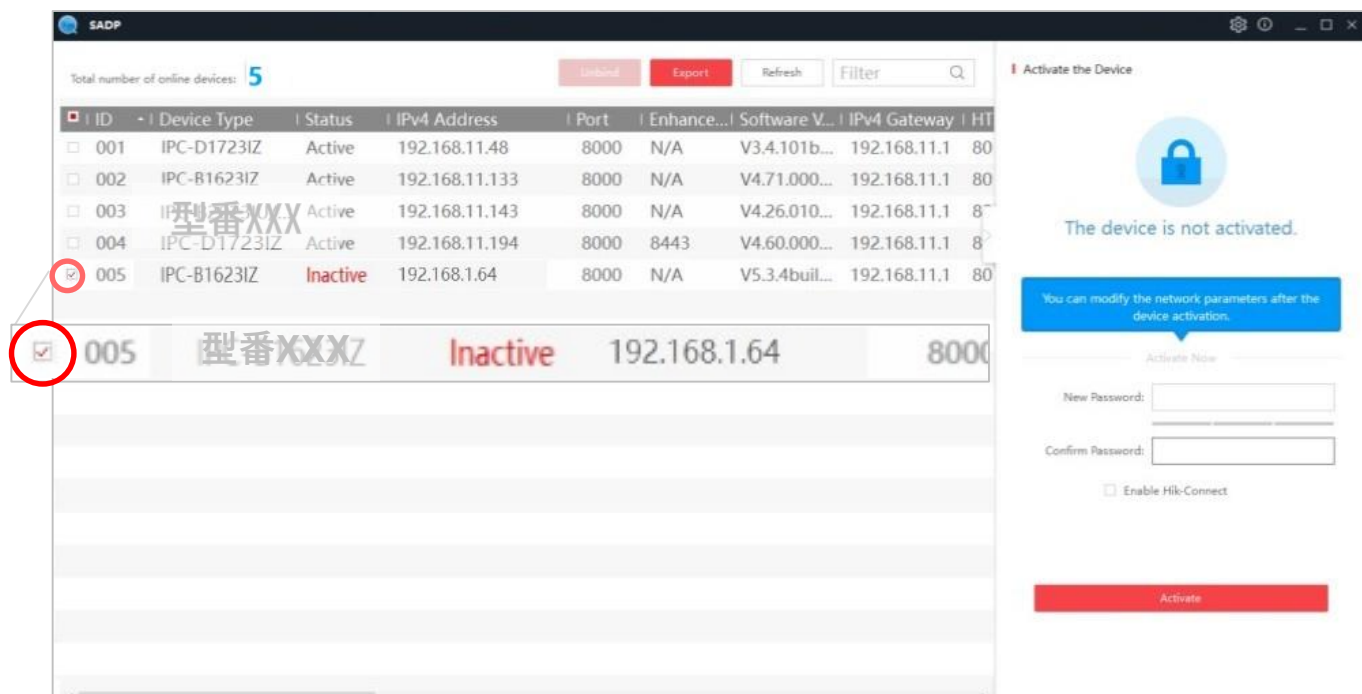
SADPツールで、パスワードを設定して、アクティベート（有効化）を行います。

1. IPカメラをネットワークケーブルで、ネットワークまたは、PCに直接接続します。
2. 同じネットワーク*に接続されているPCからSADPツールを実行し、ネットワーク上のデバイスを検索します。ネットワークに接続されているデバイスが、表示されます。

IPアドレスを設定後にSADPツールを起動してください。設定が反映されない場合があります。また、直接ブラウザのアドレス欄に 192.168.1.64を入力することで設定も可能です。



3. **Inactive** とが表示されているデバイスを選択し、リスト左端の をチェックします。



4. 右側にパスワードを設定する画面がでますので、パスワードを設定します。確認用のパスワードを入力し、**Activate** をクリックします。



お使いの製品のセキュリティ向上のため、ご自身で選択した強力なパスワード（最低8文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。そして、定期的にパスワードをリセットすることをお勧めします。特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

パスワードの入力

パスワードの再入力

ポップアップウィンドウでアクティベーションが、完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して、再試行してください。

5. **Active** を実行すると“セキュリティ保護用の質問”が、ポップアップします。パスワードを忘れた場合の回復手段ですので、質問を選択し、回答を入力してください。

※後で設定する場合は、**Cancel** をクリックしてください。

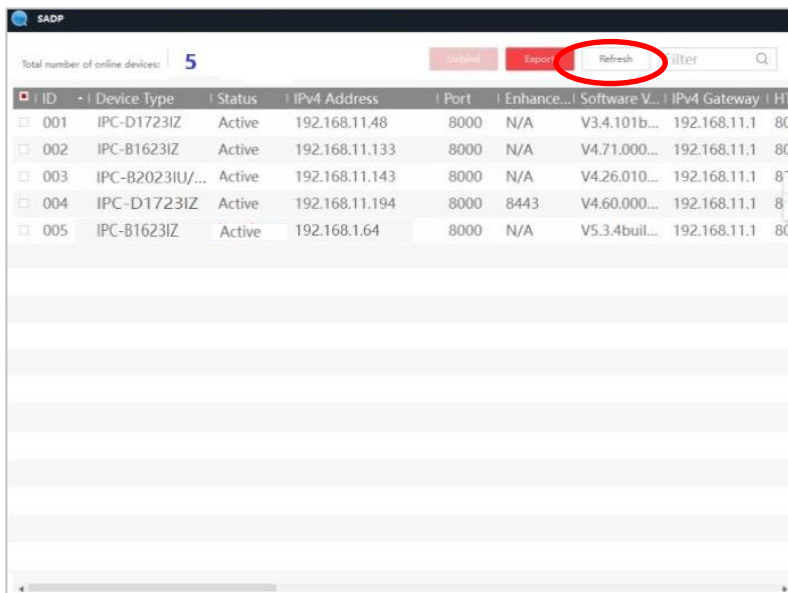
キャンセルした場合は、ブラウザの以下メニューで設定可能です。

Configuration → **System** → **User Management**
→ **Account Security Settings**

6. アクティベートが完了すると ステータス表示が **Active** に変わります。

<input type="checkbox"/>	005	IPC-B1623IZ	Active	192.168.1.64	8000	N/A	V5.7.3buil...
--------------------------	-----	-------------	---------------	--------------	------	-----	---------------


- IPカメラの左側をチェック し、Modify Network Parameters でIPアドレスを設定します。
IPカメラのIPアドレスをご使用のPCと同じサブネットにする必要があり、手動で変更するか自動的に取得する場合は、 Enable DHCP をチェック します。
パスワードを入力し、**Modify** をクリックし確定します。
Refresh をクリックし、リストを更新すると付与されたIPアドレスが表示されます。



IPカメラのデフォルトIPアドレスは、192.168.1.64です。
ここでは、192.168.11.*** に変更します。

IPカメラへのアクセス

IPカメラの画像の閲覧・設定などアクセスするには、Webブラウザを介して、IPカメラにログインします。
一部のオペレーションシステムおよびWebブラウザでは、カメラ機能の表示や操作が制限される場合があります。プラグインをインストールするか、特定の設定を完了して、通常の表示と動作を確認する必要があります。

オペレーティングシステム	Webブラウザ	操作
Windows	● Internet Explorer 8以降	ポップアッププロンプトに従って、プラグインのインストールを完了します。
	● Google Chrome 57以降 ● Mozilla Firefox 52以降	 Download Plug-in をクリックして、プラグインをダウンロードおよびインストールします。
Mac OS	● Google Chrome 57以降 ● Mozilla Firefox 52以降 ● Mac Safari 16以降	プラグインのインストールは必要ありません。 [環境設定]→[ネットワーク]→[詳細設定]→[ネットワークサービス]と移動して、WebSocketまたはWebsocketを有効化して標準表示にします。特定の機能で表示や操作が制限されています。 たとえば、再生および画像が使用できません。

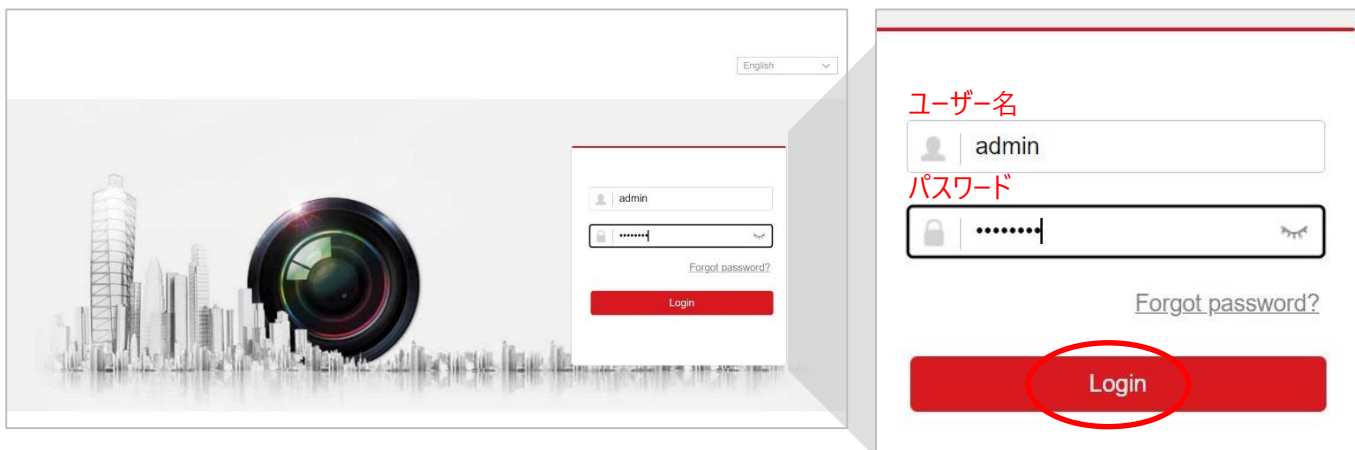
1. Webブラウザを介してデバイスにログインします。
ブラウザのアドレスバーに、カメラのIPアドレスを入力し、エンターキーを押します

🌐 192.168.11.168

または、SADPツールのリストから、IPアドレスのところをダブルクリックすれば、既定のブラウザで起動します。



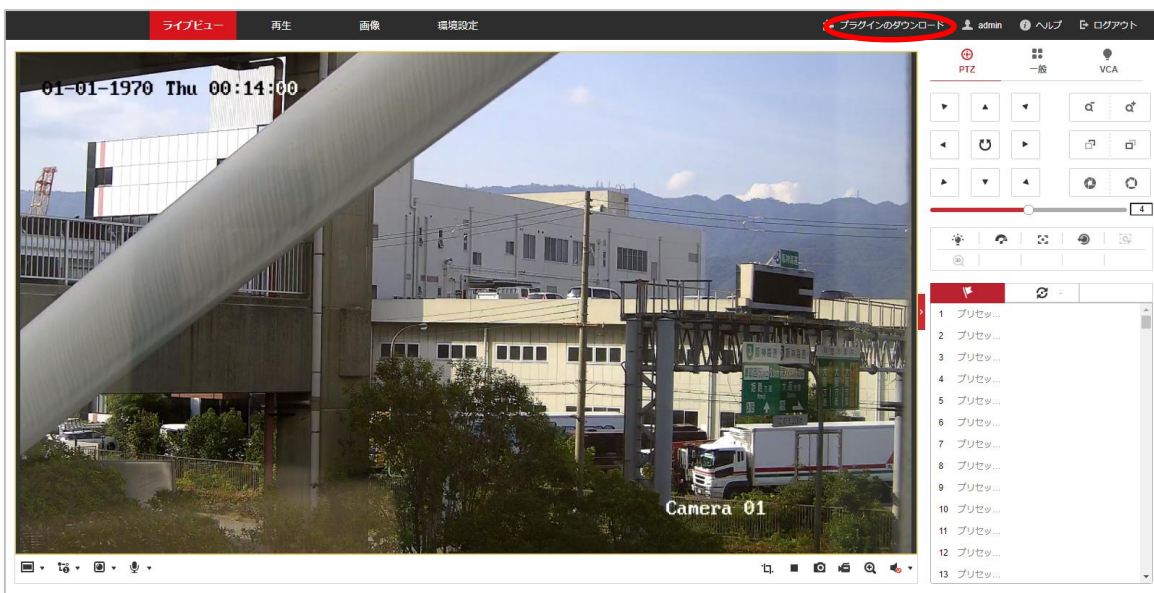
2. ログイン画面になります。ユーザー名とパスワードを入力して、**Login** をクリックしてください。



初回起動時および、ユーザーを設定していない場合は、ユーザー名は、" admin " で、入力してください。

⚠️ 管理ユーザーが、パスワード入力に 7 回失敗すると IP アドレスはロックされ、30 分間ログインすることができなくなります。(ユーザー/オペレータの場合、5 回)

3. ログインするとブラウザにIPカメラのライブビュー画面が表示されます。



⚠️ ライブビュー画面で、画像が表示されない場合は、プラグインをインストールしてください。(画面右上の **Download Plug-in** をクリックしてください)

ウェブブラウザ画面

上部のタブで表示ページを選択できます。

ブラウザで表示される画面は、IPカメラの機種により異なります。

表示されないタブ、メニューや設定項目があり、また、画面内のボタン等も動作しないことがあります。



ライブビュー

カメラ設定タブ

- PTZ
- 一般
- VCA

PTZコントロールパネル

プリセット・パトロール設定

カメラ設定パネルの開閉スイッチ

ライブビューの設定

- 双方向音声開始・停止
- プラグインスイッチ
 - ウェブコンポーネント
 - MPEG
- ストリームタイプ
 - メインストリーム
 - サブストリーム
- アスペクト比率
 - 4:3
 - 16:9
 - オリジナル
 - 自動

ライブビューツール

- ピクセルカウンター
- ライブビュー停止・開始
- キャプチャー※1
- 録画開始・停止※1
- デジタルズーム開始・停止
- 音声ミュート・音量調整

※1) 環境設定のローカルで、指定したフォルダにファイルが保存されます。



マイクロSDカードを使用するには、カメラ本体でSDカードをフォーマットします。

(**環境設定** タブのストレージで設定します)

その後、記録スケジュールを設定し、有効をONにしてください。

再生

再生タブでは、マイクロSDカードに保存されたビデオファイルの閲覧やキャプチャー、ダウンロードなどすることができます。

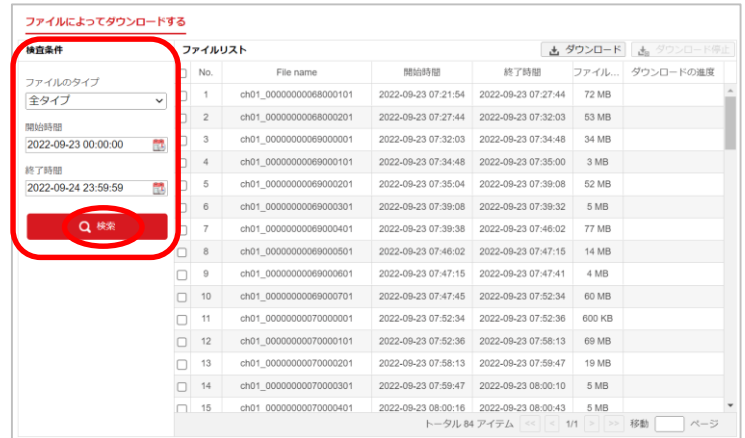
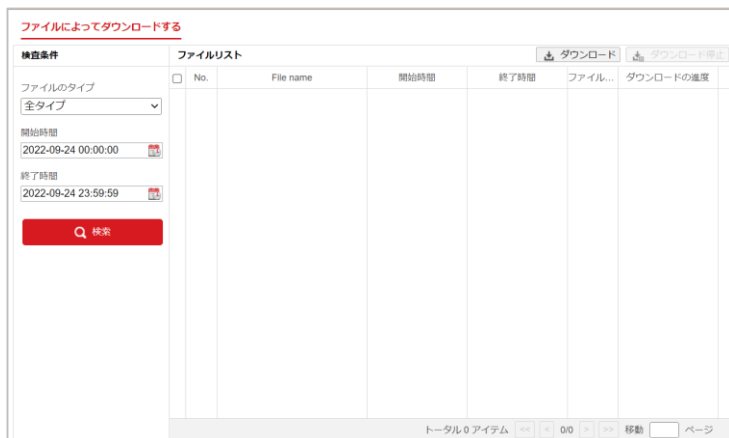
日付を選択して **検索** をクリックします



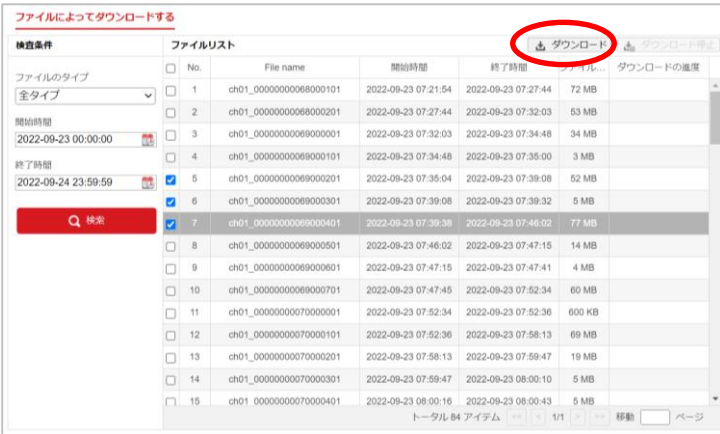
プログレスバー マウスでドラッグすることで、再生時間を探せます。右上の+・-で時間軸の拡大・縮小が出来ます。バーの色は、ビデオ種別を示します。

PCにビデオファイルをダウンロードするには

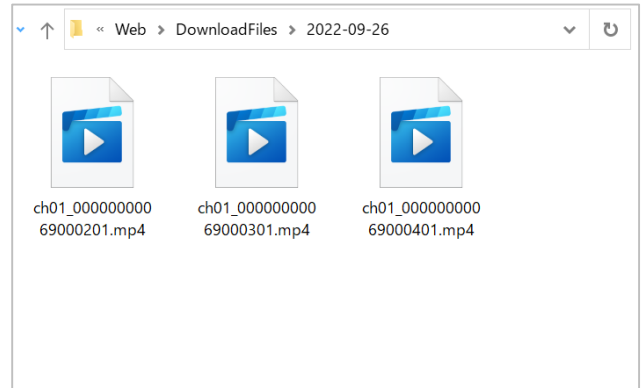
1. マイクロSDカードに保存されたビデオファイルをPCにダウンロードするには、再生ツールの **↓** ダウンロードをクリックします。クリックすると下記の別ウィンドウで、ダウンロード画面が開きます。
2. ファイルの検索条件（ファイルのタイプや時間）を入力し、検索 **検索** をクリックするとファイルリストに対象のファイルが抽出されます。



3. 抽出されたファイルリストからダウンロードしたいファイルの左端の をクリックしファイルを選択 し、右上の をクリックします。



5. ファイルは、環境設定 > ローカル > 記録ファイルの設定 の ダウンロードファイルの保存 に設定されているフォルダーに保存されます。



4. ダウンロードの状況が右端のところで確認できますので、完了を確認ください。



ダウンロードした映像を確認するには、専用のプレーヤーアプリケーション「VS Player」が必要です。

下記ページよりダウンロードしてください。

<https://www.hikvision.com/jp/support/tools/hitools/>

※ 拡張子が、.mp4 ですが、一般的な動画再生プレーヤーでは、再生できません。

画像

画像タブでは、マイクロSDカードに保存されているキャプチャー画像を検索し、そのファイルをダウンロードすることができます。

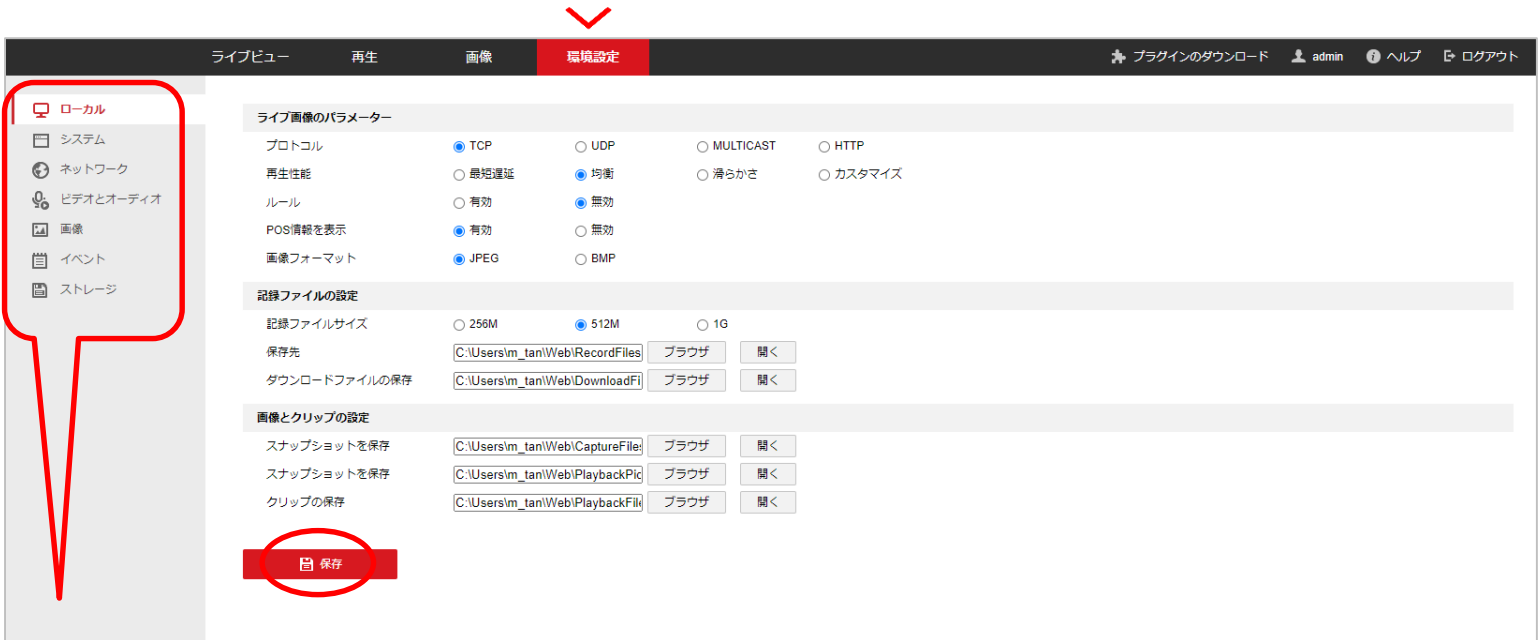
ダウンロードするファイルのチェックボックスをチェックして、をクリックします。

ファイルの種別を選択します。
開始時刻と終了時刻を選択します。
 をクリックします。
ファイルリストに検索結果が表示されます。

環境設定

環境設定タブでは、基本的な設定のほかネットワーク設定やイベントや録画の設定、画質設定などすることができます。左の項目をクリックすると右側に各設定項目が表示されます。設定値を変更した場合、下部の **保存** をクリックして内容を保存してください。

ただし、機種により対応するメニュー・設定値が異なることがあります。



項目	サブ項目	説明
ローカル		ライブ画像、記録ファイルおよび画像とクリップのパラメータの設定
システム	システム設定	基本的な情報、時間設定など
	メンテナンス	再起動、デフォルト設定他、アップグレード・自動メンテナンスなど
	セキュリティ	認証方式など
	ユーザー管理	アカウント管理、パスワードの設定など
ネットワーク	基本設定	TCP/IP、DDNS、PPPoE、ポートおよび NAT などを含むネットワークパラメータの設定
	詳細設定	SNMP、FTP、eメール送信、プラットフォームへのアクセス設定など
ビデオとオーディオ		ビデオ設定（メイン/サブストリームの設定）、オーディオ設定、ROI（関心領域設定）およびストリーム上での情報表示を設定
画像		ディスプレイ設定（輝度、コントラスト、彩度、シャープネスなど画質設定や露出設定、デナイト切替など）、OSD 設定（オーバーレイする文字の設定）、プライバシーマスク（見せない領域の設定）および画像パラメータ切替の設定
イベント	イベント	基本イベント（動体検知、トリガー、タンパリング）
	スマート	スマートイベント（顔検知、エリア侵入、ライン横断など）
ストレージ	スケジュール設定	録画スケジュールやキャプチャスケジュールの設定
	ストレージマネジメント	HDDマネジメント、NetHDD、クラウドストレージの設定

※ 各項目ごとに複数ページの設定がある場合があります（サブ項目が表示されます）

設定値の保存は、ページ毎、タブ毎に実施してください。

※ 詳細は、それぞれの機種ごとにブラウザでアクセス頂き、ご確認ください。

PCやスマホから遠隔監視の設定

ネットワーク遠隔監視は、**iVMS-4200**と**Hik-Connect**というアプリを利用して、IPカメラにアクセスし、離れた場所からリモートアクセスが可能になります。

本システムの動作は、PCやスマートフォンの性能、ネットワークの環境などに大きな影響を受けます。PCやスマートフォン、ルーターなどの取扱説明書も合わせてご確認ください。

スマートフォンでのご利用 → お使いのアプリストアから **Hik-Connect** を検索してください。



PC (Windows) でのご利用 → 弊社の担当にご連絡し、ソフトウェアを送りいたします。

※詳細の遠隔監視方法はマニュアル「遠隔監視の設定」をご確認ください。

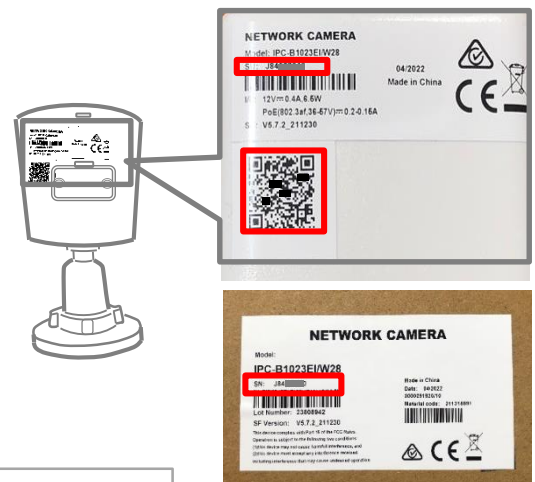
遠隔監視に登録する前に

Hik-Connect に登録をする場合、カメラ本体ラベルにあるQRコードまたは、シリアル番号が必要になります。

QRコードでの登録が容易ですが、手動追加でシリアル番号を入力して登録することも可能です。

シリアル番号は、梱包箱のラベルにも記載されています。

設置する前（カメラが手元にある時点）に登録することをお勧めします。

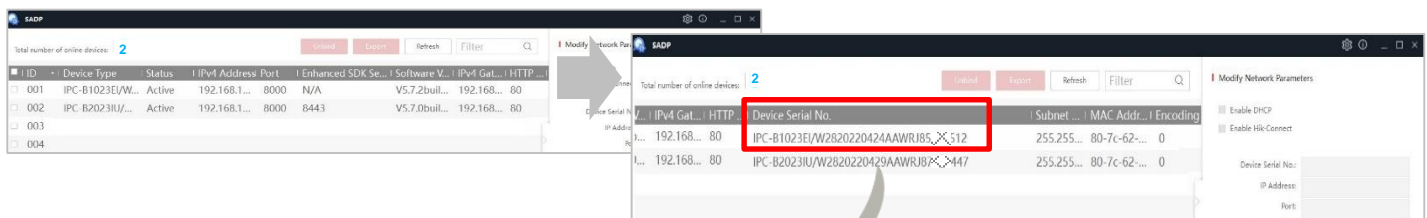


カメラをすでに設置済みでQRコードの確認が困難な場合

QRコードは、カメラ本体にのみ表示されているので、設置後でQRコードをスキャンできない場合は、手動追加でシリアル番号で登録できます。

シリアル番号を確認できない場合は、SADPツールを用いて、シリアル番号を確認し、手動追加でカメラを登録します。

SADPツールの画面を右スクロールし、Device Serial No.を表示します。



Device Serial No.

IPC-B1023EI/W2820220424AAWRJ85XX512


表示されている英数字の後ろから9桁（英字+8桁数字）がシリアル番号です。

安全上のご注意


お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。


	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		水ぬれ禁止		機器の分解禁止		接触禁止		ぬれ手禁止		指示を守る
--	----------	---	----------	---	-------	---	---------	---	------	---	-------	---	-------

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの


 異常があるときは、
すぐに使用をやめる
次のような異常時は、放置せずに電源を切り、販売店・工事店に連絡してください。


- ◇煙がでる、においがする
- ◇内部に水や物が入った
- ◇画面が映らない
- ◇接続ケーブルや外部が劣化
火災、感電、けが、故障の原因となります。


 指定の電源電圧で使用する
ACアダプタ電源使用の場合は必ずDC12Vで使用してください。
火災や感電の原因となります。

 次の場所に設置しない


- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ◇可燃性ガスの雰囲気中
爆発によるけがの原因となります。


 指定以外の機器・アクセサリは使用しない
指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。
性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。


 結露した状態で使用しない
故障の原因となります。
電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。


 設置、点検時は次のことに注意する

- ◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行なってください。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事や点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- ◇本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。
- ◇ケーブル類は正しく配置してください。
引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- ◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあります。
点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- ◇カメラや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。
落ちたりして、破損、けがの原因となります。


 無理な力を加えたり傷つけない
接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）、引っばったりしないでください。
電源ケーブル、LANケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。


 ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。

 分解や改造はしない
内部の分解、改造や修理をしないでください。故障の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

 雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない
感電の原因となります。

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

 工事に関しては工事店などに依頼する
工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店や工事店にご相談ください。
火災、感電、けが、故障の原因となります。

 定期的に点検する
取り付けがゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。